

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05434	市民・見学者	国指定文化財である細川家住宅や、遍路文化資料の貴重な歴史的資料に市民が触れるために、保管・展示し、市について理解を深めるための場を確保する。						・上がり三ヶ寺を有する本市において、へんろ文化を継承するへんろ資料館は貴重な施設であるので、県内外に向けてどのような情報の提供方法があるのか、検討したい。また、展示・収蔵している遍路資料についてもデータベース化など資料価値の情報提供も検討していきたい。 ・細川家住宅においても、郷土の文化財としての認知度を深めていくため、施設の情報ならびに遍路道沿いにあることから遍路文化との連携した情報提供を検討したい。	へんろ資料館について、資料整理を充実する必要がある。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
文化財施設管理事業	細川家住宅入場者数	人	1,500	1,440	総コスト	4,055	4,068			
	へんろ資料館入場者数	人	13,500	12,674		2,881	2,852			
所管課					直接事業費	2,881	2,852			
生涯学習課					人件費	1,174	1,216			
					特定財源	0	0			
	数値化できない成果				一般財源	4,055	4,068			
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05435	市民・見学者	市内の自然や歴史に対して、市民が興味関心を育むための場を確保し、自然や文化に触れることによって郷土愛を育てる。						自然科学館として今後、計画的に運営していくためにも運営協議会のような組織が設置できるよう、段階的に準備をする必要がある。また、自然科学館独自のイベントを企画、実施をし、利用者への情報提供を図っていく。子どもたちの理科離れの現状を踏まえ、実際に自然科学が体感できる施設としての存在感を出していかなければならない。	自然科学に関する学識経験者を配置する方向で準備を進める。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
雨滝自然科学館事業	自然科学館入館者数	人	1,000	1,230	総コスト	13,838	14,374			
	事業数	回	4	0		2,956	3,490			
所管課					直接事業費	2,956	3,490			
生涯学習課					人件費	10,882	10,884			
					特定財源	0	0			
	数値化できない成果				一般財源	13,838	14,374			
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05436	市民・見学者	市民が市の考古・民俗等の貴重な歴史的資料に触れるために、保管・展示し、市について理解を深めるための場を確保する。						郷土館内に展示している資料は、津田地区の歴史を考える上で重要なものであるが、市民への館の認知度は低い。来館者が増加するためにも積極的な活用を図っていきたい。	収蔵品について広く市民に伝えることを当面の目標をしたい。(例:CATVの活用等)	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
津田郷土館管理事業	津田郷土館利用回数	回	30	20	総コスト	1,086	1,104			
	津田郷土館入館者数	人	100	100		411	407			
所管課					直接事業費	411	407			
生涯学習課					人件費	675	697			
					特定財源	0	0			
	数値化できない成果	来館者の満足度。寄贈依頼等の資料調査及び協議。				一般財源	1,086	1,104		
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05437	市民・見学者	市民が市の考古・民俗等の貴重な歴史的資料に触れるために、保管・展示し、市について理解を深めるための場を確保する。						・企画展示を開催する毎に市内外に対し、周知をかけているが、まだ認知度は高いとは言えない。今後も定期的にチラシや新聞など外に向けたPRをしていきたい。 ・収蔵資料については、基礎情報のデータベース化、資料の把握、確認を進めていきたい。 ・資料館の活用と言うことで、収蔵資料の学習教材としての貸出し事業を計画し、より資料館が身近なものへとできるようにしていきたい。	当面、現状体制(方向性)を維持する。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
さぬき市歴史民俗資料館管理事業	歴史民俗資料館入館者数	人	1,000	1,589	総コスト	4,744	4,650			
	事業数	回	2	4		3,213	3,072			
所管課					直接事業費	3,213	3,072			
生涯学習課					人件費	1,531	1,578			
					特定財源	60	83			
	数値化できない成果	来館者の満足度。寄贈依頼等の資料調査及び協議。				一般財源	4,684	4,567		
事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
06022	市民	平賀源内先生の偉業と功績を顕彰し、思想を後世に引き継ぐ。						ソフト事業を中心に検討した結果、基本計画策定委員会を休止する形となった。今後は、基本計画策定委員会を再開し、平賀源内顕彰事業について随時検討したい。また、平賀源内を用いてまちづくりを考えている市民団体や教育機関などとの連携を図り、市全体で課題について検討したい。	顕彰会自身に大きな流れの変化がある。しばらくは調整を続けることが必要。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績			
平賀源内顕彰事業	基本計画策定進捗率	%	40	30	総コスト	3,611	1,155			
						1,010	310			
所管課					直接事業費	1,010	310			
生涯学習課					人件費	2,601	845			
					特定財源	0	0			
	数値化できない成果	ソフト事業の具体的な計画実施による効果				一般財源	3,611	1,155		